

# 法人創設 35 周年に向けた取り組み(取組み期間:2013 年度～2016 年度) ビジョン福祉 35 <職員一人ひとりの参加による福祉事業経営をめざして>

社会福祉法人 溪仁会 (北海道)

住 所 北海道札幌市中央区北 3 条西 28 丁目 2 番 1 号

TEL 011-640-6767

URL <http://www.keijinkai.com/shafuku/>

## 経営理念

### 1. 安心・安全

ご利用者様に対して、個人の尊厳に配慮した、質の高い安心・安全なサービスを提供することを目指します。

### 2. 信頼・満足

ご利用者様、ステークホルダー（利害関係者）、職員から信頼され、満足される事業展開を目指します。

### 3. 地域に貢献

地域社会と連携・協働を図り、地域の活性化、まちづくりに貢献することを目指します。

## 事業内容及び定員

2 市 3 町 1 村 (札幌市・美唄市・八雲町・岩内町・喜茂別町・留寿都村)

・介護老人福祉施設	5 施設	(定員 413 名)
・地域密着型介護老人福祉施設	2 施設	(定員 58 名)
・軽費老人ホーム	1 施設	(定員 100 名)
・介護老人保健施設	4 施設	(定員 370 名)
・小規模多機能型居宅介護	1 事業	(定員 29 名)
・認知症対応型共同生活介護	2 事業	(定員 45 名)
・通所介護	11 事業	(定員 515 名)
・認知症対応型通所介護	2 事業	(定員 15 名)
・通所リハビリテーション	4 事業	(定員 200 名)
・訪問介護	6 事業	
・訪問看護	2 事業	
・訪問リハビリテーション	2 事業	
・居宅介護支援	9 事業	
・地域包括支援センター	3 事業	
・介護予防センター	4 事業	
・障がい者相談支援	1 事業	
・事業所内保育所	1 事業	

## 収 入 (法人全体) 平成 26 年度決算

① 社会福祉事業	6,451,529,473 円
② 公益事業	0 円
③ 収益事業	0 円
合計	6,451,529,473 円

職 員 数  
(法人全体)

1,307名(非常勤含む)

当 面 す る  
経 営 課 題

- 経営品質の向上
  - ・経営基盤の確立
  - ・CSR経営の推進
  - ・効率的で質の高いサービスの推進
- 人としての組織づくり
  - ・生涯現役社会に向けた組織整備
  - ・障害者雇用の取組み
  - ・ワークライフバランスと福利厚生制度の充実
- 地域から信頼される組織づくり
  - ・公益的取組みと地域福祉向上
  - ・社会保障制度改革に対しての柔軟な対応
  - ・複合事業への転換と小規模事業の積極的展開

取 組 みに  
着 手 し た  
理 由、 背 景

法人として、2016年4月の法人創設35周年を基点とした中期計画を策定し、現在社会福祉法人を取り巻くさまざまな課題に対して、職員の意見を反映させた中で協議・検討を図る必要があると考えた。

○介護報酬については今後大きな増額は見込めず、社会保障制度改革に対して柔軟な対応を行い、サービスの質向上と併せて経営基盤の確立を図る必要があること。

○介護職員の人財確保については、今後大きな課題として捉えており、多様な人事施策を行うことにより、安定的に人財の確保が出来る組織環境を構築する必要があること。

○信頼される法人づくりとして、直面している社会福祉法人制度改革に対して、適格な対応を行う必要があり、その体制整備を行うこと。

取 組 みの  
現 時 点  
で の 効 果

各課題に対しては、法人本部と各施設事業所の職員からの選抜による、「新人事政策検討チーム」・「事業推進検討チーム」・「CSR経営推進チーム」の3つのプロジェクトにより協議検討を行っているところである。

○経営品質の向上

介護報酬減額改定の影響は否めないが、利用率の向上により収益確保等、効果が出てきているところである。

○人としての組織づくり

障害者雇用率、有給休暇の取得率、産休育休者の向上が見られ、全職員に意識の浸透が図られてきている。

○地域から信頼される組織づくり

法人の植樹活動は今年4回目の取組みであり定着した活動となっている。その他公益的事業の取組みの様々な取組みの検討を行っている。

# 法人創設35周年に向けた取り組み

<職員一人ひとりの参加による福祉事業経営を目指して>

社会福祉法人 溪仁会

社会福祉法人 溪仁会



理事長：谷内 好

所在地：札幌市中央区北3条西28丁目2番1号

設立日：昭和56年12月10日

事業内容：2市3町1村にて12施設72事業所

(札幌市・美唄市・八雲町・岩内町・喜茂別町・留寿都村)

職員数：1,307名(非常勤含む)

関連施設：溪仁会グループ(職員総数 4,300名)

★医療法人 溪仁会 3病院・2診療所・検診施設

★医療法人 稲生会

★株式会社ハーティワークス

★株式会社ソーシャル

## 経営理念



### 1. 安心・安全

ご利用者様に対して、個人の尊厳に配慮した、質の高い安心・安全なサービスを提供することを目指します。

### 2. 信頼・満足

ご利用者様・ステークホルダー（利害関係者）・職員から信頼され、満足される事業展開を目指します。

### 3. 地域に貢献

地域社会と連携・協働を図り、地域の活性化、まちづくりに貢献することを目指します。

☆職員からの公募により、法人創設30周年の2012年4月に制定。

## 取り組み計画について



1. 2017年の法人創設35周年を目途とした、取り組み目標として「ビジョン福祉35」を策定。
2. 全員参加型の福祉事業経営を目指し、課題として3つの大きなテーマを設定。
3. テーマに対して、法人本部と各事業所からの選抜による3つのプロジェクトにより協議検討。
  - ★新人事政策検討チーム
  - ★事業推進検討チーム
  - ★CSR経営推進チーム



# 1. 人としての組織づくり

＜新人事政策検討チーム＞

## ①障がい者雇用の取り組み



### 1. 障がい者雇用者数

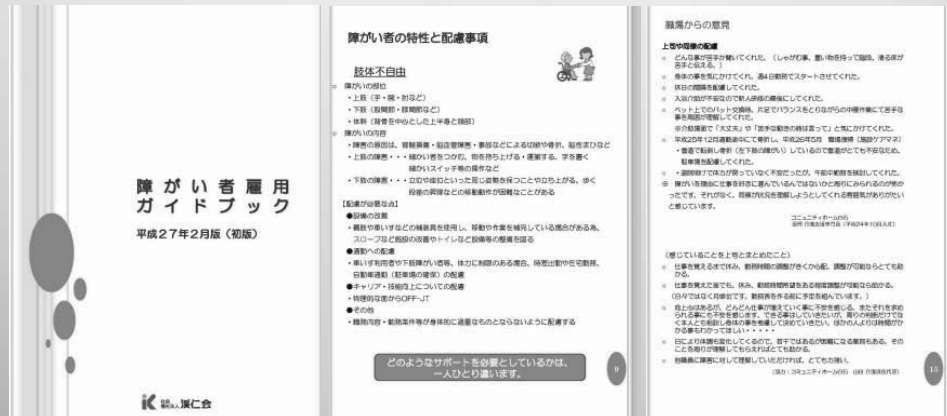
各事業所での1施設1雇用以上の推進を、毎月の経営会議等にて意識付けを行っている。

また、小樽高等支援学校の実習生受け入れを積極的に行い、併せて働きやすい職場環境の構築に向けた知識習得に努めている。

年度	法定数	雇用者数	カウント	雇用率 (%)
平成21年6月1日	9	3	4.0	0.79%
平成22年6月1日	9	5	5.0	0.95%
平成23年6月1日	11	7	7.0	1.10%
平成24年6月1日	12	10	11.0	1.52%
平成25年6月1日	16	13	14.0	1.71%
平成26年6月1日	18	16	19.0	2.05%
平成27年6月1日	19	20	22.5	2.37%

## 2. 障がい者雇用ガイドブックの初版制定

全職員の障がい者に対する知識と理解を深めることを目的にガイドブックを作成し、2015年2月に職員へ配信並びに周知を行う。



## ②ワークライフバランスと福利厚生制度の充実に向けた取り組み

### 1. 永年勤続10年表彰制度

溪仁会グループの永年勤続20年・30年表彰制度とは別に、社会福祉法人独自の永年勤続10年表彰の制度を創設し、理事長若しくは施設長より表彰者を称えている。(2014年度～26名、2015年度～33名)



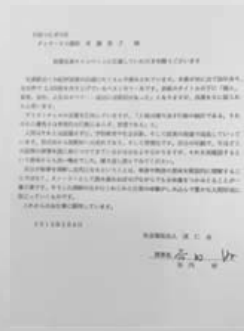


## 2. 読書促進キャンペーンの実施

職員が読書を通じて知識を深め豊かなこころを育むことを目的に、3ヵ月間の期間を設け職員から読書感想文を募りました。（2014年11月～2015年1月）

結果、34名からの応募があり、全員に理事長賞として「理事長からのコメント」と「図書カード」を贈呈。

今後も継続的な取り組みを予定している。



## 3. ワークライフバランスの推進

産前産後休業及び育児休業の取得者数は増えてきている。

仕事と生活の調和に配慮した職場環境が根付いている。

2013年3月 13名

2014年3月 11名

2015年3月 23名（男性育児休業1名含む）



### 札幌市ワーク・ライフ・バランス取組企業認証書 ステップ3 先進取組企業



社会福祉法人 漢仁会  
理事長 谷内 好 様  
貴社は、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するため、様々な取組を推進することを誓言し、法の規定を上回る制度を策定しましたので「先進取組企業」として認証します。

証 書 号 札幌市WL自認証第143号  
発 給 日 平成22年3月17日

札幌市長 上田 文 彦

#### 4. 人材育成の取り組み

当法人では、法人本部に人材育成部門であるキャリア支援室を設置し、研修等を通じて職員の人材育成に積極的に取り組んでいる。

その功績が認められ、2013年8月22日に「北海道産業人材育成企業知事表彰」を受賞。職員が常に成長できるように更なる体制の整備に取り組んでいる。



#### 5. メンタルヘルスケアの推進

2014年10月7日、溪仁会グループでは職員並びにご家族のこころの相談窓口である「まめやか相談室」を開設し、専任の産業カウンセラー（保健師等）が、完全予約制で面談カウンセリングを行っている。

溪仁会グループ職員及びご家族のこころの相談窓口  
**まめやか相談室**  
平成26年10月7日に開設します。

こんなところやからのサインを感じる方はいませんか？

仕事も仕事先のこと、頭から熱くない、早くイライラして眠りが浅くなった、からだが重い、寝れがとれない、気分が晴れない、悲しくなったり、自分自身を責めたり、家族や上司、同僚と交際しづらくなる、と悩んでいる。

仕事、家庭、健康、ストレスに困ることなど、どんなに小さい悩み・悩みなどもお気軽にご相談ください。

- 専任の産業カウンセラーの保健師がカウンセリング（相談）をいたします。
- 相談者のプライバシーが厳守されるシステムになっています。
- 電話は完全予約制になっていますので、メールが簡単で申し込めます。

※面談の際、本人確認のための健康保険証を持参ください。

■ メールによる相談・相談申し込み受付  
メールアドレス: [mameyaka@ikenika.or.jp](mailto:mameyaka@ikenika.or.jp)

■ 電話による相談・相談申し込み受付  
受付時間: 火～土 13:00～17:00  
(日曜・月曜・祝祭日・12/29～1/3を除く)  
受付ダイヤル: 0120-5568-48

【その他ご相談センター】  
● 産業カウンセラー 安藤 美穂  
● 産業保健士 佐藤 浩樹

溪仁会グループ職員及びご家族のこころの相談窓口  
**まめやか相談室**  
平成26年10月7日に開設します。

職場であなたの職場にこんな方はいませんか？

- 欠勤・遅刻・早退が多くなった
- 集中力が続かず、仕事の効率が悪くなった
- 職場での会話が減った
- 仕事上のミスやトラブルが増えた
- 急に怒りだしたり、いらいらしている

部下の対応について困りや不安、迷いがある上司の方、いつでもご相談ください。

- 専任の産業カウンセラー、臨床心理士、産業医からなるメンタルヘルス支援チームが助言や支援をいたします。
- 相談者のプライバシーが厳守されるシステムになっています。
- 電話は完全予約制になっていますので、電話またはメールでお申し込みください。

■ メールによる相談・相談申し込み受付  
メールアドレス: [mameyaka@ikenika.or.jp](mailto:mameyaka@ikenika.or.jp)

■ 電話による相談・相談申し込み受付  
受付時間: 火～土 13:00～17:00  
(日曜・月曜・祝祭日・12/29～1/3を除く)  
受付ダイヤル: 0120-5568-48

【その他ご相談センター】  
● 産業カウンセラー 安藤 美穂  
● 産業保健士 佐藤 浩樹





## 2. 経営品質の向上を目指して

<事業推進検討チーム>

### ①強固な経営基盤の確立



#### ★チャレンジシリーズの展開

2013年度より、「利用者数の底上げ」・「サービスの質向上」・「職員の意識改革」を目的に実施。各職員への機運を高め、事業所の一体感をもって取り組んでもらい「プロセス」と結果をだす「過程を構築する」ことを目標とした。

# ★デイ・チャレンジ2013

運動期間：2013年7月1日～9月30日迄の3ヵ月間



社会福祉法人 溪仁会  
デイサービスを生き生き!

## デイチャレンジ 2013

期間 2013年7月1日～9月30日

デイチャレンジ2013とは、「常に利用者さまに元気と生きがいを提供しつづける場」を創出し、職員が利用者さまとそのご家族と共に感動を分かち合い、「新しいことへの挑戦によって成長できる喜びを感じてほしい」と願いを込めた企画です。

**3つのチャレンジ**

- スマイル運動**  
スマイル運動は皆さま笑顔で結ぶ、大切な言葉です。職員から利用者さまへ、利用者さまから職員へ伝わる笑顔の輪は、デイサービスで過ごすことの楽しさを広げます。
- 地域貢献**  
地域に貢献し、地域の皆さまに必要とされる施設になるよう、地域とのつながりを大切にしています。皆さまの近くにずっと存在し続け、様々な活動を通して貢献いたします。
- おもてなし活動**  
心を込めたサービスで利用者さまをもてなし、より大きな満足と感動の実現につなげます。利用者さまの心を豊かに、信頼関係を強め、より安心の楽しいデイサービスを目指します。

社会福祉法人 溪仁会

①・・・取り組み ②・・・営業 ③・・・教育訓練 ④・・・宣言  
⑤・・・改善

種別	具体的取り組み
①	日曜行事の実施（8月夏祭り・9月感謝祭）
①	突利用者数の少ない曜日の「特別昼食会」「入浴day」「演芸ボランティア」等の追加利用が見込める企画の実施。
②	各居宅介護支援事業所への定期的な「空き情報」の提供（10日ごと）
③	各通所事業の進捗状況の職員への開示（意識化）
③	職員の数字に対する認識の向上（意識化）
④	私たちは、目標必達に向け「利用者様から愛される通所」「ご家族様にとっても有意義な通所」を目指して日々の業務に励み、この「デイ・チャレンジ2013」を出来得る限りの最高の結果で達成することを宣言いたします
③	・接遇マナーの見直し
⑤	・業務効率を向上させることでの利用者の快適さを向上。
①	・行事を小さいもの（入浴イベント・料理レク・外食レク等）を昨年度よりも多く企画し実施。また、その周知方法をより分かりやすくし、楽しみや意欲を促進する。
⑤	・キャンセル時の振替利用の促進を実施（全利用者対象）
②	・担当者会議時に必ず「ご本人様とご家族様のご都合がよろしければいつでもご利用頂けますのでお申し付け下さい」と話すようにする。（予防給付、介護給付の方で対応は若干異なります）
①	全利用者に配布している「連絡帳」の記載欄に毎日必ずコメントを記入し、ご家族様に通所利用時の様子を詳しく報告する

# ★デイ・チャレンジ2013

達成事業所・理事長賞授与式



### 【達成事業所】

- ・コミュニティホーム美唄  
通所リハビリテーション
- ・コミュニティホーム岩内  
通所リハビリテーション
- ・コミュニティホーム八雲  
通所リハビリテーション
- ・月寒あさがおの郷デイサービスセンター
- ・デイサービスセンターすまいる



# ★チャレンジ2014

運動期間：2014年10月1日～3月31日迄の6カ月間



## ★「平均利用者数の前年対比」

社会福祉法人 漢仁会

職員一人ひとりの参加による  
福祉事業経営をめざして

# チャレンジ2014

期間 2014年10月～2015年3月31日

チャレンジ2014とは、法人開設35周年に向けて掲げた中期計画(ビジョン)を達成するための、職員が利用者さまとご家族とともに挑戦を共にし、「新しいことへの挑戦によって成長できる喜びを感じたい」と願いを込めた企画です。

4つのチャレンジ

- ★ショートチャレンジ2014★  
(2014年10月～12月)
- ★デイチャレンジ2014★  
(2014年11月～2015年1月)
- ★漢仁会スマイル大賞★  
(2014年11月～12月)
- ★ベストハンドル★  
(2014年10月～2015年3月)

社会福祉法人 漢仁会

ショートチャレンジ 2014 (短期入所生活介護)	利用定員 (人)	2013年度 平均利用者数	2014年度 平均利用者数	増減数	2014年度 利用率
西円山敬樹園	14	8.0	8.9	0.9	63.6%
Jユニティ白石	19	12.2	15.4	3.2	81.1%
月童あさがおの郷	8	4.3	5.5	1.2	68.8%
岩内ふれ愛の郷	10	7.0	7.0	0.0	70.0%
手稲つむぎの社	10	—	3.1	3.1	31.0%
合計	61	31.5	39.9	8.4	65.2%

デイチャレンジ 2014 (通所介護)	利用定員 (人)	2013年度 平均利用者数	2014年度 平均利用者数	増減数	2014年度 利用率
西円山敬樹園 デイサービス	35	21.3	22.8	1.5	65.1%
月童あさがおの郷 デイサービス	45	29.8	33.5	3.7	74.3%
手稲漢仁会 デイサービスつむぎ	65	55.6	56.2	0.6	86.5%
デ サービス 白石の郷	55	39.7	40.8	1.1	74.2%
デ サービス すまいる	35	24.5	23.6	△0.9	67.4%
デ サービス まへれ	10	8.5	8.6	0.1	86.0%
あおば デ サービス	65	48.7	49.1	0.4	75.5%
豊平漢仁会 デ サービス	70	55.8	56.5	0.7	80.7%
円山漢仁会 デ サービス	75	61.2	59.5	△1.7	79.3%
新琴似漢仁会 デ サービス	65	49.6	52.1	2.5	80.1%
合計	520	394.7	402.7	8.0	77.4%

デイチャレンジ 2014 (通所リハビリテーション)	利用定員 (人)	2013年度 平均利用者数	2014年度 平均利用者数	増減数	2014年度 利用率
Jユニティ白石	50	37.4	40.6	3.2	81.2%
Jユニティ八雲	45	25.8	26.2	0.4	58.2%
Jユニティ美幌	50	40.9	44.0	3.1	88.0%
Jユニティ岩内	50	40.0	38.3	△1.7	76.6%
合計	195	144.1	149.1	5.0	76.5%

# ★チャレンジ2014

表彰事業所 (ショートステイ・デイサービス)



職員一人ひとりの参加による福祉事業経営をめざして

# チャレンジ2014

【チャレンジ2014】とは、法人開設35周年に向けて掲げた中期計画(ビジョン)を達成するための、職員が利用者さまとご家族と共に挑戦を共にし、「新しいことへの挑戦によって成長できる喜びを感じたい」と願いを込めた企画です。

ショートチャレンジ2014(2014年10月～12月)

ずっと住み慣れた地域で暮らせるよう、みんなで築く  
楽しさ・休息の場を、心を込めたサービスを提供し  
「地域に貢献」いたします。

【表彰の風景】

月童あさがおの郷ショートステイセンター

デイチャレンジ2014(2014年11月～2015年1月)

「信頼・満足」のサービスの基本は、笑顔と優しい心づかい  
から。より大きな満足と感動を実現し、居心地の良いデイ  
をサービス目指します

【表彰の風景】

西円山敬樹園デイサービスセンター

デイサービスセンターまへれ

デイサービスセンター白石の郷

あおばデイサービスセンター

## ★チャレンジ2014 表彰事業所（ベストハンドル）



ベストハンドル賞2014(2014年10月～2015年3月)

① 全ての職員が無事故・無違反で、「安心・安全」を提供します

【表彰の施設】

桜木こまらの郷  
豊平ハーティケアセンター

ご利用者さま・ご家族さまへ  
チャレンジ2014を通じて、「安心・安全」「感謝・満足」「地域に貢献」を実現することを努めて参りました。今後も、継続して取り組めますので宜しくお願い申し上げます。

社会福祉法人深仁会 法人本部 事業推進部

## ②効率的で質の高いサービス



### ★ICT化の推進

2014年度に「きもべつ喜らめきの郷」とそのサテライト施設である「るすつ銀河の杜」の間で、テレビ会議システムを導入。併せて法人本部においても環境を整え、法人本部で開催する研修や会議において活用し効率化を図る。





### 3. 地域から信頼される組織づくり

<CSR経営推進チーム>

## CSR経営の推進

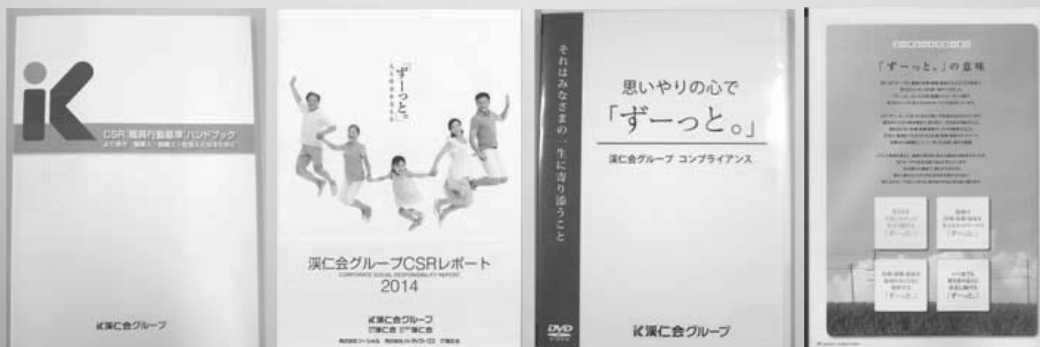


### 1. コンプライアンスの取り組み

溪仁会グループ全体で、倫理・法令遵守、人権擁護、環境保全などの価値観を共有することを目的に、2004年4月に「コンプライアンスマニュアル」を策定。2014年4月に「CSR [職員行動基準] ハンドブック」とし、社会的責任「CSR」経営を包括したものに改訂。

★溪仁会グループCSRレポートの発行（2006年度より毎年）

★職員教育用DVDの作成（2014年4月）





## 2. 公益的取り組み

法人創立30周年記念事業として、地域貢献活動の位置づけで「カミネッコン植樹活動」を行い、今年で4年目を迎え法人全体の継続的取り組みとして浸透している。活動頻度は年1回で、毎年、各事業所職員・職員家族・ステークホルダー参加者等により、3年間で552本の植樹実績があり今年度は220本の植樹を行う。

### 【参加者推移】

2012年度	50名
2013年度	43名
2014年度	87名

### 【植樹本数推移】

300本
102本
150本





### 3. 業務監査の実施

法人本部業務管理室長と事業所職員複数人により実施。

行政指導監査の指摘事項や前回内部監査のフォロー

アップ監査の実施と監査情報の法人全体の水平展開を

重点とした展開を図っている。

#### 【実施事業所数】

2012年度 18事業所

2013年度 31事業所

2014年度 35事業所

ご清聴ありがとうございました。